

こんちわ新聞

慶應労組
四谷支部

春闘が始まります

皆さんは「春闘」ってなんだろうと思っ
ていませんか。春闘と名前がついてい
るように春の時期に労働組合が賃上げ
を始め労働条件の改善などを、経営者
に要求する運動のことです。

賃上げは「ベア」（ベースアップ）と
呼ばれ、年齢や勤続年数などで上がる
「定期昇給」とは違い全労働者の基本
賃金をその時期の社会状況に応じて一
律に引き上げることです。今回行いま
したアンケートを集計し要求としてま
とめ交渉材料にしていきます。

アンケートのご協力あり がとうございました

1月末から2月2日迄労働組合のア
ンケートにご協力いただきありがとうございます
ございました。私たちは皆様のご意見
を基に春の要求をまとめていきます。
人事給与制度変更の説明会をしている
最中でしたので、この部分についての
ご意見は記入しにくかったかもしれま
せん。今後も労働組合は、皆様から寄
せられました声を、直接団体交渉など
で、より良い職場の環境を作るために
活用させていただきます。

人事給与制度変更の 説明会が開かれました

人事給与制度変更に関する計4回の
説明会が開かれました。説明会は職場
により参加は必須である、自由である
とまちまちだったようでも空席も目立ち
ました。

労働組合はスタッフSについての肯
定も否定もしていません。スタッフ2
であっても、生活が維持できる給与水
準が必要であると考え、基本給が毎年
3000円以上上げようを要求しています。
以下、参加者からの感想を紹介します。

「説明内容があまりよくわからなかつ
たが、スタッフSという制度が、導入
されることだけはわかった。」(事務系)
「基本給をあげてほしいと思った。」
(育児時間を終わらせた看護師)
「質問もなく25分後に終わった。説明
した実績のみという感じでした。」
(1回目参加看護師)

「空席が目立ち、説明会は全員参加と
いうことが職場や職種により
異なっているようだ。」(技術職)

夜勤を考える会

1月19日組合事務所において第1回「夜勤を考える会」が開催されました。

現在慶応病院では3交替制がとられていますが他の大学病院でも2交替制を導入するところが増えています。労働組合は、世の中は長時間労働を削減する方向にあり、1日の勤務は8時間以内であるべきと考えます。働き方改革で、長時間となる夜勤の身体的・精神的負担は計り知れず、世の中の流れに逆行していると考えます。

現在の慶応での夜勤や働き方の問題点の現状を出し合う会として病棟勤務の看護師が集まりました。リアルな現状がたくさん出されましたのでその一部を紹介します。

- 準夜勤は休憩が40分くらい。目標は終電に帰ること。
- 深夜は麻薬の申し送りなどで15分くらいかかるが残業つけていない。6時からの処置やコールが多く記録が残ってしまう。
- とにかく休暇が取れないのがつらい。休暇がとれないまま3月末に退職する。
- 日勤の仕事がとにかく終わらない。退院調整など必要。
- 時間短縮制度が切れたあとで残業が多い。働き続けられず辞めた看護師が職場にいる。
- 介助が必要な患者、せん妄の患者が多く病床数が少なくても夜勤は走り回っている。
- 同じ職場に他病院で2交替を経験した人がいるが2交替は無理で3交替がいいと言っている。自分も2交替になると気持ちが落ちてしまう。

「夜勤を考える会」として今後も継続して話し合っていきます。

第2回は**本日2月9日17時半**から 組合事務所です。現在夜勤をしている人もしていない人も自分の問題として集まってください。軽食を準備します。

ユニオンカフェ

2月21日(水)

11:00-15:00

場所:組合事務所 会費:300円

事務所内線:62020

組合員はもちろん、「色々な職場の状況を聞いてみたい」、「友達が欲しい」と思う方はぜひしてください。ホッとできる空間です。2種類のカレーを準備してお待ちしています。

